

2018 年度 湘南藤沢学会「研究助成基金」成果報告書

The ACM CHI Conference on Human Factors in Computing System 2018

総合政策学部 3 年
高盛竜馬

1. 活動日程・会場

日程 : 2018 年 4 月 22 日 - 25 日

会場 : Palais des Congrès de Montréal, Montreal, Canada.

2. 活動目的

本活動の目的は、カナダのモントリオールで開催される国際学会 The ACM CHI Conference on Human Factors in Computing System 2018 においてポスターセッションを行うことである。対外発表を行うことで研究に関するフィードバックを頂くとともに、他組織からの参加者との交流を深め意見交換を行うことで、今後の研究活動に活かすことを目的とする。

3. 発表内容

今回、この国際学会で私は「Growable Robot with ‘Additive-Additive-Manufacturing’」というタイトルでのポスターセッションを行った。昨今、AIBO などのパーソナルロボットの分野において、クラウドとロボットが繋がるようになり、ソフトウェア的な内面の成長を遂げるようになったが、一方で外装のハードウェア的な成長は考えられていない。そこで AAM という独自に開発した、3D プリンタと独自に開発したソフトウェアによって既製品や 3D プリントされたオブジェクトに対して新たにオブジェクトを付加する手法を用いて、ロボットの外装的な成長に応用した。また、3D プリンタによる擬似的な毛を出力できるような手法を開発し、犬型のパーソナルロボットである AIBO に対して 3D プリンタで毛を付加するなどのことを行った。

4. 活動成果

本学会のポスターセッションにより、本研究の盲点となっていたところの指摘を受けたことで、今後の研究の軌道修正を行うことが出来た。また、独自に開発した手法に関して興味を持って受け入れられ、これからの研究活動に有用なディスカッションを盛んに行えた。他のセッションにも盛んに参加し、本研究と関連するような3Dプリンタなどのデジタルファブリケーションを扱った研究に関するディスカッションを行えた。



5. 今後の展開

今回のポスターセッションでのディスカッションを踏まえて、今後の研究に活かすブラッシュアップしていく。

6. 謝辞

本学会参加にあたり、資金面での援助を頂きました湘南藤沢学会に厚く御礼申し上げます。